

# 早雲だより

2021.12.23

第152号

歴史グループ早雲

代表 井上一夫

## 第一六八回 歴史ハイキング 報告

### 歩き出会って初めて面白さが解る

#### 『鴨川散策』

2021年11月28日(日)

本日の歴史ハイキングは賀茂川と高野川の合流点の出町橋からくいな橋までのおおよそ8キロメートルを歩く『鴨川散策』を行いました。参加は300名ほど。

鴨川は京都市民にとって散歩やランニングの拠点として親しまれ、鴨川納涼など市民の憩いの場となっています。歴史的にも鴨川は平安京以前の昔から京都と密接に関係しています。

今回の歴史ハイキングでは『鴨川散策』に歴史的なものを感じていただくために何点か説明しました。

●鴨川つけかえ説の否定  
結論を言います。平安京建設に伴い鴨川が付け替えられた。

たという説は、1980年代に否定されています。鴨川は平安京建設当時から南北にほぼ今の場所を流れていました。

#### ●鴨川流路の定着

鴨川が現在の南北をほぼ一直線に流れる姿が確定したのは、江戸時代寛文8(1668)年の「寛文新堤」の築造によるもので、上賀茂から五条まで川幅を狭くするようにならされました。この新堤は洪水対策よりも平安京発展による土地拡張の意味が多く、この時に先斗町などができました。

#### ●河川改修

現在の我々が目にする鴨川の姿は昭和10年の鴨川

大洪水以降の河川改修によるものです。

河川改修により川底は数メートル掘り下げられました。この改修によって鴨川右岸にみそそぎ川が出現しました。夏の鴨川納涼床の風景には欠かせないものになっています。

#### ●鴨川納涼床の変遷

鴨川の変遷と共に鴨川納涼床も変わってきました。江戸時代には四条付近の鴨川は中洲がありました。中洲に床几を並べて400軒くらいの店が出る盛況でした。

他の予備知識も踏まえて鴨川の歴史をめぐる歴史ハイキングに出発しました。

●主な立ち寄り場所  
○みそそぎ川取水口  
○荒神口の車道

川に架かる橋は人が渡り重量の重い牛の引く荷車は橋の下流の川の中を通った荷車用の車石が復元されています。

#### ○山紫水明處

山紫水明の言葉の発祥の地。頼山陽の書齋兼茶室。  
○旧京都中央電話局上分局  
大正13(1924)年1月竣工の建物。

○高瀬川取水口  
慶長9(1614)年完成。現状はみそそぎ川から取水している。

#### ○三条大橋

昭和25(1950)年完成。擬宝珠に豊臣時代のものが残っていること。  
○歩道橋跡

右岸からその昔あった中洲へ板を渡した人専用の橋。  
○七条大橋

昭和の大洪水で残った。唯一明治期の意匠を残す。河川を掘り下げたため橋の基礎が露出している。

国登録文化財  
○韓橋(からはし)跡

九条坊門小路(現東寺道)と鴨川が交差する所に橋が架かっていた。橋守が置かれる重要な橋であった。

○高瀬川の鴨川横断場所  
高瀬川が鴨川に合流する  
地点。俵等で堰を作って対  
岸の高瀬川までのルートを作  
った。

くいな橋まで歩き歴史ハ  
イキングは終了しました。  
今回の参加者に鴨川つけ  
かえ説を学術的に否定した  
横山卓雄氏の知人がおられ  
ました。突然のことで対応  
ができなかったのが心残り  
です。



みぞそぎ川取水口付近

みぞそぎ川開渠部



洛中洛外図解説版の前で



一条橋下流



四条大橋下流



七条大橋下流



韓橋跡付近



九条跨線橋下流



高瀬川・鴨川合流点



# ハイク写真館

(参加者の写真を借用)

鴨散歩 鴨川



三條大橋



出雲阿国像(四条)



五条大橋



七条大橋



白鷺 鴨川



## 一口感想

K・M

「鴨川散策」を企画頂き誠に有難うございました。

これまで三條大橋・四條大橋の上あるいは堤防から鴨川河川敷を何度も見下ろしましたが、河川敷を歩いたのは初めてでした。出町橋から水鶏橋まで思いのほが長距離で疲れましたが、知らなければ通り過ぎてしまう「荒神橋脇の謎の小道」、山紫水明 由来の「水西荘」を教えていただくと共に、唯一明治期の意匠を残す「七条大橋」を見、また、高瀬川が鴨川を横切っていた事実を知り非常に収穫の多いウォーキングになりました。

◇◇◇

H・T

皆様、きょうは有り難うございました。鴨川の紅葉を満喫させていただきました。

た。又次回もよろしくお願います。

◇◇◇

A・K

本日の歴史ウォーク楽しい一日でした！歩数は三〇〇歩でした。遥か田舎からの参加なのでした。次回滋賀坂本も楽しみに待っています。

◇◇◇

T・M

今日は、晴天の下鴨川散策お世話になりました。久しぶりのフィールドワーク。解放感一杯ですっきり!!暖かい日射し、水辺の鴨や鷺、紅葉した落ち葉、1000年の歴史の続く京の町を鴨川に沿って縦断、充実した一日を過ごすことが出来ました。次回も楽しみにしています。いただきました。又次回もよろしくお願います。



Y・M

昔の鴨川の風景当然のことながら今の風景とは別のものであります。今もそうだが過去もその時代その時代により風景は変わって行くものと思われま

す。これは、鴨川だけでなく日本全国いや世界でも同じでしょう。自然に流れている川を人間の都合で変えていく。蛇行しながら流れる川を治水工事に変えていくなどがその例でしょう。令和の時代に鴨川は又は世界の川はどのような変化をた

びたいのでしょうか。過去の歴史から学びたい。歴史学の原点にかえった今回の散策でした。最後にこの散策を企画してくださった方々すべてに感謝したいです。

### ◆井内講座◆

#### 滋賀県クイズ

滋賀県には近江八景と呼ばれる風光明媚な景勝地があります。今回は、近江八景にちなんだ問題を出させて頂きます。

#### 問題1

三井晩鐘でなじみのある三井寺には、歴史上のある有名な人物が足跡を残しています。その人物は紀州田辺の出身ですが、さてその人物の名前を答えて下さい。

#### 問題2

矢橋(やばせ)の帰帆の舞台となっている矢橋港(現在は矢橋帰帆島公園)から、ある有名なことわざが生まれました。このことわざは何でしょうか。

#### 問題3

さて、矢橋のあるのは草津市ですが、草津には江戸時代草津宿が設置されました。草津宿は五街道のうち東海道と中山道の交差する場所でもありました。それでは、草津宿は、東海道五十三次の第何次でしょうか。

又、中山道六十九次の第何次でしょうか。

#### 問題4

石山秋月で有名な石山寺ですが、寺では紫式部が源氏物語の構想を練ったという言い伝えも残っています。それでは石山寺は何宗の寺でしょうか。

#### 問題5

堅田落雁の雁(がん、かり)は、カモ目カモ科カン亜科の水鳥のうち、カモより大きく、ハクチョウより小さい一群の総称です。さて、カモと言えは鴨料理で

有名な長浜市の老舗の料理店があります。では、その店の名前は？

#### 問題6

近江八景は、琵琶湖の水辺の情景を集めた八カ所の名所が選ばれています。さて、その琵琶湖は現在の滋賀県の何分の一の面積を占めるでしょうか。

### ◆お知らせ◆

歴史グループ早雲の「LINEグループ」について

携帯電話  
09019561442

又は  
ラインID  
yoshitoyo1969

村田 義豊

を登録していただくと私村田が招待させていただきます。私にラインを送る時に「歴史グループ早雲の〇〇です」とメッセージをいただくとありがたいです。

### 【編集後記】

今回歴史ハイキングでお配りした案内は20ページになりました。案内するスタップもすべて内容を消化しきれないのが実情でした。これだけはどうポイントだけで十数力所になり、それでもまだ漏れていました。

今回の早雲村よりは散策の解説を概要だけにしました。不足する分はハイキングの案内を見て下さい。

案内が必要な方は井上まで請求してください。

LINEグループも楽しいです。ありがとうございます。

### ◆井内講座◆解答

問題1 弁慶

問題2 急がば回れ

問題3 東海道五十二次

問題4 真言宗

問題5 長浜烏新

問題6 六分の一